



サカタニ友の会 ニュース

駅伝ライブ

第12回 11月8日(日)

開催

津波・大地震時(2004年12月26日)が初回。その前に、当社は、トヨタ・シブタニ京阪七条店の二階を改装。七条通り面した場所をギヤラリーカフェ(集)・中央(酒売場)(西)その奥(貸しホール)(楽)の二つのスペースを設け、集西楽シブウエララ・サカタニと名付け運用を始めた。

表側の(集)で朝粥食(ておシャベリ会)を毎月第3日曜日開催(1月は8回目)。集の壁面は月貸しの「ギヤラリー」にお使い戴き、奥のホール(楽)では「ピアノ教室やコーラス、落語会等」の使用戴いて来た。

その時に起ったスマトラ沖の大地震で、多くの被災者支援に、月のスペースを使って支援金募集を思いつき、ホール・ギヤラリー等を、使用下さっている方々にスマトラ地震の支援金を集めるの相談を持ちかけた。その方々、ミュージシャン等は、音楽でなら気軽に協力ができるとのこと、初回の駅伝ライブ

が開催する事が出来た。当初は、私も、おらかなビックリで取り組んだが、初回から参加者も多く、想定していた以上の募金が集まり、日赤とニセフ・ランドインバンド募金にお届けした。私共もその成果に感動したが、協力の方々も、それを共感され、来年も募金集めのイベントを続けようとなり、そして今年12回目に至った。毎回の特別参加費として五百円を頂戴するが、券を提示すれば出入りは自由。出演演奏を下さる方々は(別表)14ユニット。プロ・アマの区別なく出演料は無い。協力、費用として、音響設備費、若干の印刷費以外は、全て従来通り募金先に納める。



第12回: 駅伝ライブ♪♪: 出演者順
◇演奏・演技の場所
▽集re喫茶ルーム: ▽楽々ホール

- ① 11:30~12:00 出演者名 音心楽隊-いろいろ
- ③ 12:30~13:00 出演者名 澤田ケメコ& 大阪城ジャグハンド
- ⑤ 13:30~14:00 出演者名 ストリート・ノーチェイサー
- ⑦ 14:30~15:00 出演者名 スムウキー
- ⑨ 15:30~16:00 出演者名 風野宮
- ⑪ 16:30~17:00 出演者名 なあー沖縄音楽
- ⑬ 17:30~18:00 出演者名 しーなきのはら
- ⑮ 18:30~19:00

- ② 12:00~12:30 出演者名 東山コーラス
- ④ 13:00~13:30 出演者名 インザウインド
- ⑥ 14:30~15:00 出演者名 京女: 落語研究会
- ⑧ 15:00~15:30 出演者名 ひょうたん島
- ⑩ 16:00~16:30 出演者名 京都女子大ダンス部
- ⑫ 17:00~17:30 出演者名 J-m a c '65

ファミマ: サカタニ 京阪七条店頭のスペースで ライブ パフォーマンス も致します。

★フェイナール 挨拶: 酒谷宗男他
◇募金額概算発表
撤去作業: イベント終

第3日 曜日開催日 10月18日(定例:期9時~)

第129回: 朝粥食へておシャベリ会

講演・辻誠一さん。(報告者)高木英智様



このごろ、うまい、楽しい、だと思っ

要素は安、うまい、楽しい、だと思っ

本日のご講師は駄菓子と呼ばれるジャンルのお菓子と玩具のお店を藤井大丸の南に入ったところで商売されている船はし屋のご主人、辻誠一さん。駄菓子の魅力」と題してお話をいただきました。季節により変動するようですが、お菓子で10000種類、おもちゃで10000種類を扱うとのこと。少子化の影響もあって、海外で作りの影響もあって、海外でももたらから10円、20円のものに消費税は取れないとがんばってきたが、消費税、円安で駄菓子屋の経営環境は厳しい。駄菓子の3要素は安、うまい、楽しい、だと思っ

卒業論文に駄菓子文化を取り上げる学生が増えてきたり、外国人にもロコミで広がり多くやってくる、アカデミックな駄菓子屋になつてきたとのこと。辻さんは本当に多才な方で、親子であげる風づくりをされたり、南座のまねきの看板で有名な勘亭流という江戸文字を教えられたり、地元の歴史にも詳しく、以前は、七条大橋の西側で駄菓子の問屋さんがあったのもマンションに変わり、今では東京からも取り寄せるし、仕入れができなくなったものについてもご自分の店で作るものもあるそうです。家にもならず、人と話をするのが大切、それが脳を刺激する、中学生の万引きも残念ながらありやむなく対策をしたと、こどもたちの未来に大いに心をかける、本当に多才で多彩な活動をされてい

吹き始めた。前の戦争責任は、軍人・政治家と共に、後ろでそれを操って居た三井・住友・三菱等々の財閥も戦争責任を問われ、財閥は解体された。それから戦後70年の今、当時の財閥より更に強大な資本グループが出来ている。戦争絡みの法律もできた。私の幼年時代のような空気を感ずる。

▽違うのは憲法。これで70年平和維持が出来た。これからも不戦の誓いを立てた国として、世界の平和に貢献する日本でありたい。老人は、経験した戦争の愚かさを孫子に話そう!

▽第1回目は、チリ地震に次いで大規模のスマトラ沖の大津波支援で、当社も、ミュージシャン達も恐る恐る取り組んだ。が、当日大入の大成功だった。▽その勢いで終了後の反省会で、来年もやろうの声。そして年一回開催が定着。有つては困るが、毎年何処かで災害があり、支援金に寄贈することになった。▽この数年は、東日本大震災支援金」としている。最近は大震災は起こっていないが、政治の方が怪しくなってきた。戦争法が強行成立した。

▽地震等の天災は、人間では止められない。が、戦争は、人間力で止められる。特に日本の憲法は、戦争放棄がある。が、それが邪魔で、金儲けが出来ないから戦が出来ない風が吹き始めた。

どんつき

▽毎年11月の開催月。毎年、当サカタニに多数の方々が来てくださる日。今年の8日もそうなるかと嬉しいなあ。

ヨシイちゃんの ひとりごと



卒業69年目の 同窓会

私、ヨシイちゃん
は、81歳。
この地で生れ育

ち、貞教尋常小学校(昭15)入
学(昭21)貞教国民学校、年生時
を卒業した。我が世代は、生まれ
た時、既に日中戦争が始まっており、
小学2年で大東亜戦争。
戦時中、6年生で学童疎開と敗戦。
五年制中学に入学した。が、戦後、
米占領軍主導の六三三制に変え
られた。正に大人達に振り回された。
敗戦の混乱が治まった一〇才時、小
学校の同窓会が出来て、卒業した貞



教小学校裁縫室
を借用し、第一回
目の同窓会(昭30)写
真を撮った。後に
戦時で中止された
修学旅行(伊勢神
宮)も実施した。以
後も殆ど毎年、世

話役を分担しながら今に至る。本年
も、11月16日に開く。

高年齢であるが、6年生女組担任先
生(89歳)も参加下さる。卒業時、
男女合わせて130名いた学友も、今回
案内を出せたのは50名になってい
た。参加者は何人になるかマダ判らない。
高校時代のクラス会(裸木会)も卒
業後の今も毎年続けている。

我が娘たちから、夫々が卒業した
学校の同窓会の事は聞いたことが無い。
恐らく組織すらないのだろう。私達

の時代と違って、今は平和で、物は溢
れ、教育環境も今の方がズーと良いの
に。その差は何となく感じて見えた。

戦時の私達は、男子は剣道・女子は
長刀を習わされ、給食と豆粕の中に
お米が有る状態。常に飢えていた。

空襲警報で勉強もしてそこに防空壕
繋がり助け合わなければ命すら危険
の中で、友情が生まれた。また、団
体行動も多かった。

戦後、特に平成になつた頃から、経
済は拡大、豊かになり、個人を重んじ
る風習が広がった。新しい友人がいな
くても金銭有れば不自由はない。それど
ころか、友人が競争相手(敵)になる
ことも有る様だ。

その結果、個を優先して団結と
言う言葉が、寧ろ邪魔扱いされてき
た。だから、同窓会も不要なのだろ
う。人と言う字は、支え合つて成り
立っている。人間が居なくもなるかも。

伏見稲荷
大社本殿北
側の石段を
登り、奥宮
を過ぎ鳥居が続く参道に入ると観光
客で大賑わいの千本鳥居をくぐります。
その先の奥ノ院別名命婦社にぶつかり
ます。社殿の奥には重軽石(おもかるい
し)があります。若者が列をなして嬉々
として持ち上げています。ここには二つ
の石灯籠が並んでいます。
石灯籠の空輪(頭)を持ち
上げて、軽ければ願いが叶
い、重ければ叶わないとい
うもの。多くの人が、思っ
たより重いですね。」と。願ひ事はそう
簡単には実現しないようです。

稲荷山 ふらり散策記⑬ 越智薫史

伏見稲荷
大社本殿北
側の石段を
登り、奥宮
を過ぎ鳥居が続く参道に入ると観光
客で大賑わいの千本鳥居をくぐります。
その先の奥ノ院別名命婦社にぶつかり
ます。社殿の奥には重軽石(おもかるい
し)があります。若者が列をなして嬉々
として持ち上げています。ここには二つ
の石灯籠が並んでいます。
石灯籠の空輪(頭)を持ち
上げて、軽ければ願いが叶
い、重ければ叶わないとい
うもの。多くの人が、思っ
たより重いですね。」と。願ひ事はそう
簡単には実現しないようです。

秋が深まって来た。
いつしか鴨も飛来し、
鴨川べりに彩を添え
だした。
もつとも、秋晴れ続きで、流れ
る水の量が日に日に細り、魚た
ちの居心地が案じられる。
さて、「安保法案」可決の一
大事の後、超スピードで新
内閣が発足し、巷に、「一億総
活躍」の旗が突然翻り出した。
冗談でしょう、こんなに格差社
会になってきているのに。その
渦中にいると「世界全体が幸せ
にならんことには」と法華経の
信仰が篤かった宮沢賢治の声が
するようだ。「あの光るのが阿
武隈川」の声もする。放射能に
汚染されても光太郎のフレーズ
は永遠だ。大正生まれの詩人石
垣りんや茨木のり子の声も、ひ
めゆりの塔のあたりからも亡き

秋の 石動敬子

母のように語りかけてくる。
「戦争は二度とすべからず」
と。これも歳時記でいう「秋
の声」だろうか。故人だけでき
なく若い世代も声をあげた。
「僕たちがこの国の主人公だ」
と。そ、そうだよな。
よくゆうた。
平均年齢から割り出せばわれ
ら団塊の世代も既に「10月頃
の人」。澄んだ空に来し方を顧
み、行く末を思う見晴らしがき
く良い時でもある。しかし、老
後の不安はいっぱいで、「総活
躍」って何のこと？昔の「一億
一心」の焼き直し？としらじら
しくもなる。
「子供の貧困」という声もする。
近く住む孫やらに接して「みん
な可愛い」とつぶやく日常なが
ら、7歳になった子がいうのだ。
新聞の、竹中らんこさんの漫画
を指さして、この戦車は？その
うえで大きな顔している人は？
銃を持つているお兄さんたちは？
ママたちは何て言ってるの？



ここから東への参道が稲荷のお山めぐ
りの本格的な道です。熊鷹社に向かう
参道を30m進み、私は根上がり松の
前を参道を外れて右に折れ静かな山
道に入ります。観光客は急に居なくな
り静寂の山道となります。このあたり
は竹の小道と呼ばれている道です。
この道は稲荷山麓から大亀谷方面への
道をいい木幡を越え、宇治から大和に
つながる道でもあったといえます。旧大
和大路です。
山懐に抱かれながら静かな山道を歩
いていると気持ち落ち着き、日ごろ
のイライラ感が解放されます。
稲荷や深草あたりの竹藪を横に眺め
ながらの道なので「竹の小道」と呼ばれ
たのでしよう。良く手入れされた竹

藪を見ながらの散策は気持ち良いも
です。春先になるとタケノコが出てき
ます。足元には草いちごが食頃を迎
えます。5月いっぱいまでタケノコの収
穫でお百姓さんは忙しいそうです。本町
通りの庭先には直売のタケノコが早朝
から並びます。
少し話は余談になりますが、江戸時
代の記録に伏見タケノコは大坂天満の
青物市場では名産品として重宝され
たそうです。深草稲荷一帯の竹藪で採
れたもので、淀川を船で運ばれていまし
た。
弘法の滝、青木の滝を越えて左に折
れて稲荷山頂上の一の峰に続くこの散
歩コースが私は好きでよく歩きます。
平安時代、この稲荷から深草一帯は

「何故？せんそうが起ころの？」
「ぼく絶対いやだよ」
大好きな植物園から鴨川べ
りにはしごし、川遊び後のサイ
クリングの午後、四条大橋から、
デモ行進に合流した時、孫は驚
き、わたしと手をつなぎながら
「せんそうはんたい」とはつき
り言ったことが身体に残ってい
るのだろう。「表参道合唱部」
も何遍も録画で見て、楽しいと
いつたり、家で育つ胡瓜の赤ん
坊をもう一人の弟同様かわいが
る。
運動会のかけっこがピリで、ふっ
と涙を浮かべたのもつい先日
のことだが、それはともかく「紅
組優勝」のお祝いだ！とお婆ち
んはへそくりでごちそうを奮発
した。
そんなこんな日常茶飯事の中、
秋は深まってそぞろに寒くなっ
て、どこへ行くのか。
様々な声の中から、大言壮語、
私利私欲に濁る声でなく、国を
憂える澄んだ声に耳を傾けたい。

京都&東山 ぶらりピカリ

64

七条通

「フライテイ 豊かな通り」



この欄で七条通りの東から西へ順にお寺などを書いて来た。ふと気が付いたのは、碁盤目の横(東西)の市内十の大通(北山・十条)の中で、世俗的知名度では三条四条に譲るが、七条通りは地味では有るが、京都で否、世界で一番バライテイ豊かな通りであろう。

先ず通りの名前も「シチジョウ・ななじょう、ひちじょう・ヒツチョウ」と概ね四つの呼び方が有る。四条は、「よんじょう」とは呼ばず「シヨウ」だから、七条は本来は「シチジョウ」が正しいのだと思う。だから「シチジョウ」と読むべき所だが、京都人は、江戸っ子と違い一番最初の「シ」の発音が難しい人が多く、「シ」を「ヒ」になったらしい。例として、京都では「質屋(しちや)」を「ひちや」と呼ぶ人が多いのだ。

呼び方はそれとして、この七条通りは「バライテイに富んだ通り」。

まず、第一に「京都駅」が近く、駅北側七条方向が正面口である。その北に「物産館(旧・丸物現ヨドバシカメラ)」がある。鴨川を七条

大橋で渡ると、京阪の七条地下駅もあり、アクセスはどの通り良い。

東山裾に、京都女子学園・智積院、妙法院、三十三間堂等々の社寺があり国立京都博物館も有る。その博物館で、11月23日迄、琳派(リン・ピカミヤ)を彩る」と題して、光悦、宗達、光琳、抱一のスパークスターの作品展が催されている。入場料1500円・館内庭園には『ロダンの考える人』が展示されている。(考える大切さを教えている像だ)

鳥丸通りから、少し西に行くと現在は「うどん屋」さんになっているが、昔は(昭24)「富士ラビッツ」の賑わいがあった。

トスクーター(写真)の賑わいがあった。当時は、エンジンが、手で車を押し始めたオモチャの様なもの。それでも当時は高価なものだった。

更に西の北側には、村井銀行七条支店であった建物(写真は、今は団体レストラン『きょうと和み館』として営業中。これと同様の形で使われた建物は、祇園にもある。

行商から身を起こし煙草王と言われた後に、起こした銀行は、主の吉兵衛没後、昭和恐慌(1927)で破産した。(後、昭和銀行・安田銀行にた。お寺も多いが、水族館・建設中だが鉄道博物館出来る。平安から現代までが見られるバライテイ豊かな七条通だ。当社も有る。



鳥丸通りから、少し西に行くと現在は「うどん屋」さんになっているが、昔は(昭24)「富士ラビッツ」の賑わいがあった。

トスクーター(写真)の賑わいがあった。当時は、エンジンが、手で車を押し始めたオモチャの様なもの。それでも当時は高価なものだった。

更に西の北側には、村井銀行七条支店であった建物(写真は、今は団体レストラン『きょうと和み館』として営業中。これと同様の形で使われた建物は、祇園にもある。

行商から身を起こし煙草王と言われた後に、起こした銀行は、主の吉兵衛没後、昭和恐慌(1927)で破産した。(後、昭和銀行・安田銀行にた。お寺も多いが、水族館・建設中だが鉄道博物館出来る。平安から現代までが見られるバライテイ豊かな七条通だ。当社も有る。

市電が走った 京都を巡る

56

福田静二

西大路通を北へ向かう市電が、大将軍を発車します。車窓正面には、ずっと左大文字山が続き、その山容も次第に大きくなって来ました。西大路通には商店やビルが混在した街並みが続きますが、次第に賑やかな雰囲気になってきます。そして、まもなく到着する停留場が「白梅町」です。

ここでは、昭和五十一年まで市電今出川線が東へ分岐していました。西大路線の市電系統のうち、4・15は西大路線をそのまま北上、22はここで曲がって、今出川線へ入ることになります。交差点西には、京福電鉄北野線の北野



京福北野白梅町駅の前で今出川線に入る市電

白梅町駅があり、帷子ノ辻、嵐山方面へ向かう客の乗り換えや、市電の乗り継ぎで、停留場はいつも賑わいを見せていました。白梅町の名は、この付近の広域地名「北野」に続く町名のひとつで、住居表示では、上、下、西が頭に付きます。付近には、紅梅町という町名もあり、いずれも近くの北野天満宮の梅に由来するようです。

西大路通、今出川通に、まだ市電が走っていないかった昭和三十年代初頭、京福北野線の線路は、西大路通を通り越して、今出川通を併用軌道で走り、北野紙屋川町から細い専用軌道を通って、終点の北野へ到達していました。北野天満宮の南側に当たり、京福は、京都西部から北野天満宮への参拝客輸送も目論んで、大正十四年の創業時に北野を始発としたことが理解できます。この区間が廃止されたのは昭和三十三年で、京福電鉄の線路は現在の位置まで後退します。代わって市電今出川線が敷設されることになるのです。西大路線が、南から延伸されて、白梅町まで到達したのが昭和十一年ですから、約二十年間は、京福と市電が、ここで平面交差をしていた訳になります。そして今出川線の市電が廃止されたのが、前記のように昭和五十一年であり、白梅町は分岐もなく、単なる停留場になってしまいました。



西大路線の白梅町の停留場、付近は賑やかな街並みが続く

交差点の東北部、信用金庫の前に「北野廃寺」と書かれた石碑があります。飛鳥時代から平安時代の堆積層から瓦が発見され、京都最古の寺とも言われます。寺域は白梅町を中心とする一辺百メートルの広大な寺域を有していました。寺の名前ははつきりせず、地域の名を採って北野廃寺としました。また、北野白梅町駅の南側、いまは大型スーパーマーケットが建っているところは、市電時代は、撮影用の小道具を貸し出す会社がありました。おもに、京福沿線に多かった映画撮影所への用途で、通りからもさまざまな小道具が見えたものでした。京都西北部の交通の結節点として、市電時代から賑わいを見せる白梅町、その土地ならではの歴史が詰まっています。

酒屋で生きて 生かされて



第七七話

融手問題は

日本酒再興の父解決したが、
飯田博様が死亡銀行の信用は
ガタ落ち。当時は、銀行を接待し

た時は「床の間」前に座った貰う
程厳しい金融状況であった。借入
が超困難になった。一方で米の生
産量も増え、酒造米の枠も緩和さ
れ日本酒の醸造石数も増えてきた。
酒卸は小売屋さんに値引きをしな
いと売り難い。当然利益はガタッ
ト減り、卸問屋の競争も激しくな
た。銀行と言う仕事は、儲かって
いる方には、融資をするが、赤字
の会社には貸さない。

前号で書いたが大株主から派遣
専務は居なくなり、私も、ある事
情で政治活動から離れ、仕事にドッ
プリと関わり出していた。が、日々
の自転車操業に困り果て、大株主
だった朝日麦酒(株)に相談し、
舞鶴の酒問屋F社の傘下に入った。

親しい得意先、親戚は「軒を貸
して母屋をとられる」と反対され
たが、私が「護り切るから」と断
言して酒問屋(株)酒谷本店の名
称のまま、父と他の酒造会社の
持ち株を譲り子会社になった。

父は「会社」とは無関係になり、
暫く後に、(私の結婚後)住んでいた
「店」から山科に有る「いずみ屋」

第七七話 律方なく酒屋に④は銀
行が床の間の副題で記入していました
急遽、差替えしました。丁了承下さい。

に移った。私は店に2階に住ん
で、常務取締役になって、酒問屋
業に専念した。

親会社の京都店従業員も加わり、
古くからの社員と共に「酒問屋業」
に専念した。(当時の状況は、10月号
1Pに書いたので省く)。

只、酒卸業時代の勉強は、酒小
売になってから随分と役に立った。
百貨店にも商品納入ために、並行
輸入商品を仕入れることや、地域
の酒販店の人たちとの交際で、色々
な商売の方法を教えて戴けたこと
等々で。又、ボランティアの言葉
もない昭27年から5年程(青年時
代)に、水害救援隊や、地域での
色々な生活相談などの経験と感動
が、今もどこかに今も残っている
のかも知れない。人と人の繋がり
のなかで世の中は、良くも悪くも
なるとその時の経験で学んだ。根
が「シッコイ男」なので、その時

花火月三天

を眺めることにいたします。



写真 2015年8月7日 19:30~20:30 開催
琵琶湖花火ボスターから転載

SAKURA

編纂史子
Fumi Koseki

ずる仕と思わ
ずにいられま
せん。



編集後記

▽今号で193号。
ネットで調べたら

2005年11月号vol.75号から記事が
残った。丁度10年分になる。
その前は「マイドゥ！」との名の紙
名発行していたと。智田が死命
で
から▽▽▽▽▽

の事が、50年程経った今も、ほんの少し残っているのかも知れない。

酒屋で生きて 生かされて



第七七話

9月26日

日本酒再興の父 日本名門酒会 飯田博さま 最高顧問飯田博 様(91歳、東京都)



の酒問屋(株)岡永会長)の計報が入った。同氏(岡永)のことを知ったのは、酒業界新聞で(昭37?)同氏弟様経営の「オーケースーパー(勲氏)」と生まれ、(二末弟(亮氏)主導で「警備会社」設立準備中の記事を見た時だった。(当時、私は酒卸業従事中)酒問屋とスーパーの二ヶ所の安定した拠点が有れば「警備会社は成功するだろう」と思うと同時に、「二兄弟の先見性の驚いた。(ザ・ガードマン)が放映されてた時期)予想通り、今や世界的なセコム(株)になっている。後に、前号迄に記した経緯で、酒問屋を辞し、現在地で酒小売業(株)サカタニを始め、今に至る。

当時、ビール洋酒が良く売れ、日本酒は大手銘柄「GやH」に人氣が集中、他銘柄や地方の酒は、売り難く、日本酒が危機的な時代。地方の中小酒蔵は醸造して、出来上がった酒は、「GやH」等の大手酒蔵「桶のまま」状態で売るのが普通だった。一寸オチチョヨイの私は、時流に逆らうのが嫌いではない。地方酒で良い酒が有ると仕入れ販売した。(美少年(熊本)浦霞宮城)梅錦(愛媛)司牡丹(高知)白真弓(岐阜)等々)仕入先は遠方、運賃関

係で最低3ヶース仕入れられたが、売り切るのに苦労していた。そこへ、「岡永」さんが来られた。渡りに舟と早速「入会」し、何れ良い日本酒は酒屋の柱になると、友人の酒販店にも参加を勧め「日本名門酒会京都支部」をつくり、

本名門酒会京都支部をつくり、会主催の「酒の試飲も出来る友の会」(今は各地で開かれてる)をKBSホールで開催。(漫才「よくよくよ」と利き酒会。後10年間継続)更に

店をビル化し営業形態をコンビニファミにしながら、日本酒に拘りを持ちながら、商売を続けている。人生では、色々な出会いがある。もし、あの人との出会いがなかったら、今の私が無い！とまで思える人はそう多く無い。

飯田博様は、その中のお一人である。お別れは、悲しく残念の極み。冥福を祈りつつ、文を終わる。第七七話 酒屋で生きていかされては、飯田博様の計報で差換えました。

係で最低3ヶース仕入れられたが、売り切るのに苦労していた。そこへ、「岡永」さんが来られた。渡りに舟と早速「入会」し、何れ良い日本酒は酒屋の柱になると、友人の酒販店にも参加を勧め「日本名門酒会京都支部」をつくり、

本名門酒会京都支部をつくり、会主催の「酒の試飲も出来る友の会」(今は各地で開かれてる)をKBSホールで開催。(漫才「よくよくよ」と利き酒会。後10年間継続)更に店をビル化し営業形態をコンビニファミにしながら、日本酒に拘りを持ちながら、商売を続けている。人生では、色々な出会いがある。もし、あの人との出会いがなかったら、今の私が無い！とまで思える人はそう多く無い。

ヒカルイノチ

木枯らし 1号も観測され、北の国からは雪のたよりも届き、日本列島に寒い冬がやって来ようとしています。気付けば暦はもう霜月。2015年も後2月で終わります。

この時期は、ユニセフのハンド・イン・ハンド募金月間であることをご存知でしょうか？ハンド・イン・ハンドとは手と手をとっての意味ですが、ユニセフ(国際連合児童基金)の国内委員会である日本ユニセフ協会が、1979年から始めた一般参加型の募金活動のことであり、毎年11月12月をキャンペーン月間として参加ボランティアを募っています。

フラリーパッドの地元・京都七条でも、このハンド・イン・ハンド参加活動となるイベントが毎年11月に行わ

れています。サカタニさんで開催される 駅伝ライブです。多種多様なパフォーマンスのようにリレー形式で8時間に渡るライブを展開し、来場者の参加費を募金として寄付するといふものです。

参加者は楽しみに来るだけで募金に協力できるのもとても気楽に参加ができ、毎年多くの方が来場されています。2011年の東日本大震災以降は被災地支援もテーマにか

り、収益金は被災地支援の募金にも充てられています。平穏な生活が続くと、この瞬間に世界はどこかで尊い命が失われている方がおられることを、忘れてしまいがちです。ユニセフによると、年間6000万人の子供達が、5歳の誕生日を迎えることなく命を落としています。私たちが当たり前のように受けられる予防接種が受

けられないために、当たり前のような食事が取れないために、小さな命の光が失われているのです。この事実私たちができることがあるはず！駅伝ライブはそんな気付きさえも与えてくれます。

今年フラリーパッドも駅伝ライブに参加し、皆様と一緒に大切な命の存在を、音楽を通して考えたいと思います。

ほらを吹き、自分のことじやないのにも自分のことかのようになり。大きいものや大きいもの友達、小さいものことは全部知っている。だって上からとてもよく見えるのだから。

待ち合わせ時間に遅れる本当の理由も知っているし、ほら吹きの中身が小さいものことじやないことも確認済み。何より、大きいものは小さいものこととをとてもよく見えてアドバイスしているのだから、アドバイス通りにするべきである。簡単な、してはいけないけれどもできないから、小さいものは砂粒ほどの小ささのまま、大きいものに見捨てられてしまうのだ。「ぼくは？」

編集後記
▽本紙は、今号で194号。調べるとう20年前だ。その時分はmy doo my dooの紙名で発行元はお酒の共和国だった。
▼当時、酒業界の変化を見越して、親しい酒屋7店で、お酒の共和国」という名のグループを創り、最終的には、一つの会社に纏まる計画だった。
▽その第一段階として、共同出資し、同業の酒屋さんの猛反対の中、酒販売と呑み屋」の会社を設立。テナント2軒で営業を始めた。同時に「新聞発行」をした。それが「マイドゥ」だった。
▼が、当時は、酒の価格安定して、通常の売り方でも儲かったのに何故、他の人と共同行動をするのかと、店主の奥さん方から不満が出て、纏まりが崩れ会」は解散。酒販売と呑み屋」も廃業した。
▽会社は解散、出資金は各自の損。代表者だった私は設備投資借入金一保証人。多額の債務を引き受け返済。残念ながら助い手は少なかった。
▼新聞「マイドゥ」も引き継いだ。何度も「止めよう」と思った時に限つて時に「読んでマッセ」と声が掛かる。ホンマかいなあ？。と思いつつ、諦めの悪い性格が、災いして今日まで来てしまった。
▽シンドイ事ではあるが、良いことも有る。記事の材料探しで、少し目線が変わるし、ボケ防止になつてる様な気がする。
ご迷惑かも知れないが、当分は続ける心算。アホなと思ふなら、協力をお願いします。

大きなお尻

小ぢいお尻 月三太



「ねえ、お話を聞かせてよ」「いいよ」私は自分の腰にも届かない小さな友達に目を向けた。小さな顔をぐつと上げ、目を輝かせて待っている。世界を旅しているときに、船の上で聞いた話を思い出した。「じゃあこんなお話を知っていますか？」

小さいものは砂粒くらいしかないが、本当に小さい。大きいものは一番高い草花に頭がとどくほど大きい。小さいものも大きいものも小人という種類で、草花や木の蜜を主食にしている。大きいものは小さいものが取ることのできない大きいものを取ってあげて、小さいものは砂粒くらいしかない場合、時間はギリギリか少し遅れて、何人かで遊ぶ時に大きいものが小さいものを誘うと恥をかく。